

(株)苦東 第1回経営諮問委員会の概要

- 1 開催日時 平成11年10月22日（金）10:30～12:00
- 2 場 所 東京都千代田区 霞ヶ関ビル内「東海の間」
- 3 出席者 10名中8名出席
- 4 議 題 (1) 委員長及び委員長代理の選出について
(2) 経営諮問委員会規程、経営諮問委員会規則の制定について
(3) (株)苦東の経営概況と中期目標について
- 5 議事要旨

議題(1)

委員長に児島相談役を、委員長代理に田中委員を選出した。

議題(2)

当社第4回取締役会において決定された案が了承された。

議題(3)

会社側より当社設立以降の会社の経営概況及び中期目標設定の考え方について説明があった。

これに対し各委員より、次のような発言があった。

- 資本金で分譲用地等を購入したスキームに基づく、土地が売ればその用地費見合い分を株主に還元していく必要がある。
- 不透明な事業環境の下では、手元にできるだけ多めの資金をリザーブし、余裕を持って事業を運営していく必要がある。
- 計画全体面積10,700haの所有者区分、会社が分譲する面積等を整理する必要がある。
- 土地分譲を行う場合、一番大事なのは開発の考え方と価格設定である。
また、国も長期的に苦東地域をどの様に活用するつもりなのか、会社はどのような予見のもとに、何を自由度として持っている等それぞれの役割分担・責任体制の明確化も重要。
- 道内経済界においては、苦東開発を会社だけの問題ではなく北海道の問題として考えている。
- 営業活動については、それぞれ関係機関が情報を取りながら進めていくことが必要。公的プロジェクトの張り付けについては、開発庁が他の省庁に働きかけながら予算要求し努力をしていかなければならない。
- 開発庁や道が発信する冊子等に苦東の情報を盛り込んでもらおうとよい。